

花と緑の銀行だより

235号 2025.5



護国寺のシャクナゲ (写真：朝日支店)

目次

- ・花と緑の提言「花と緑のリレー」朝日町 (朝日支店) 2
- ・活動事例 南砺支店の活動について (南砺支店) 3
- ・技術講座 生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～フランネルソウ～ (職藝学院 渡邊美保子) .. 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～アオキ～ (樹木医 西村正史) 5
- ・とやまの花壇 ～富山市 新庄北小学校&地域団体～ 6
- ・この人あり 大島地方銀行の活動状況について (射水支店 大島地方銀行 頭取 吉田 厚子) 7
- ・報告及びお知らせ 花とみどり・ふれあいフェア など 7



「花と緑のリレー」朝日町

花と緑の銀行 朝日支店長
朝日町長 笹原靖直

日頃より、花と緑の緑化推進に多大なるご支援とご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

朝日町の舟川べりの桜並木は「あさひ舟川春の四重奏」として広く知られています。4月には、舟川の両岸約1200メートルに約280本のソメイヨシノが咲き誇ります。この桜並木は、地元の舟川新桜並木保存会の方々によって昭和30年代の前半に植えられ、長年大切に維持管理されています。名の知られる桜の名所となり、かがり火でのライトアップも実施され、幻想的な夜桜も訪れる人々を魅了しています。桜の開花時期に合わせて、毎年同地区の方々がチューリップや菜の花を栽培されています。開花時期がうまく重なると残雪の北アルプス連峰、桜並木、チューリップ、菜の花による四重奏を楽しむことができます。今年も、県内はもとより全国各地、海外からも多くの方にお越しいただきました。



写真1 あさひ舟川春の四重奏

春の四重奏の次は、境地区にある「護国寺のシャクナゲ」です。(表紙)

庭園には、先代のご住職や檀家さんが長い年月をかけて植えてこられた約30種類300株のシャクナゲが、4月下旬からゴールデンウィークにかけて見頃を迎えます。5月はツツジ、6月はサツキが咲き、苔生した回遊式庭園をお楽しみいただけます。

そして、6月以降は、朝日小川ダムの下流の、ハーブ園「ハーバルバレーおがわ」です。このハーブ園は、朝日小川ダム建設にともなう周辺環境整備事業の一環として、人々がくつろぐことができる公園づくりを目指し、平成3年度に整備されたものです。約2.4haの広大な敷地に約50品種、

約5万株のハーブが植えられており、「ラベンダー」や「エキナケア」、「ロシアンセージ」などのハーブが6月から7月にかけて咲きほこります。

北アルプスに抱かれた自然のなか、芳香に囲まれながらゆっくりと過ごすことができます。



写真2 ハーブ園「ハーバルバレーおがわ」

朝日町では、草花とのふれあいによって町民の生活の質を高め、心身ともに健康で豊かに過ごすことができる環境を整えたいと考えています。花と緑に囲まれ、潤いと安らぎに満ちた地域づくりを行うため、各地区の緑化推進のリーダーとなって活躍されている地方銀行頭取・グリーンキーパーの方々のご協力を得て、春に緑化木や花苗、秋にはチューリップの球根等を地区花壇、小中学校及び公共施設に配布しております。



写真3 花苗の植込み作業

また、町民の皆様とともに花壇やプランターへの植栽や維持管理をしていただいているところであり、関係の皆様方に心から敬意を表し、感謝申し上げます。次第であります。

今後とも花と緑の銀行、町民の皆様が一体となって活躍できる町づくりを推進してまいります。

南砺支店の活動について

花と緑の銀行 南砺支店 事務局
南砺市森林・農地整備課 森崎智也

南砺支店には32の地方銀行があり、200名を超えるグリーンキーパーの方々に活動いただいております。頭取のみなさまにおかれましては、地域の代表として日々、事務局に多大なご協力を賜り、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

南砺支店の独自の体制としましては、32の地方銀行に加えて、合併前の8つの町村地域ごとに支所を設けているのが特徴です。支所では、異なる地方銀行の頭取やグリーンキーパーの方々が広域的に協力して、広大な花壇を管理したり、研修などを地方銀行合同で行っております。支所同士では、花壇管理の情報交換をしたり、花壇コンクールでは入賞を目指して切磋琢磨しています。

本支店の主な活動としまして、上半期は4月の肥料配布にはじまり、5月に花苗配付、7月に南砺市の花壇コンクールを行い、上位の作品は県の



写真1 南砺市花壇コンクール 審査風景

花壇コンクールへ参加させていただきます。県のコンクールでは、令和6年度は一般花壇の部で「玉成花壇愛好会」が最優秀賞を、花の道の部で「南部第六福寿会」が優秀賞を受賞することができました。グリーンキーパーさんの日々の花壇管理が成果に実を結び、喜びもひとしおです。

他には5月に南砺市園芸植物園にて「花と緑のフェスティバル」を実行委員会の方々と共に開催しております。会場では市内の保育園児や幼稚園児が作成したプランターや、市内の花愛好者が作成されたハンギングバスケットを展示しております。みなさまの作品で会場が華やかに彩られています。

また、南砺市には有名な観光地である「菅沼合掌造り集落」があり、合掌造り家屋の周囲を花で彩る事業も行っております。ほかにも南砺市には観光名所がたくさんあり、行く先々で花の景観を楽しんでいただけるよう、住民の方々の協力のもとに花壇を展開しております。



写真2 菅沼集落の花飾り

下半期には10月にチューリップ球根を各地域や小学校へ配付しております。小学校では「チューリップの学級づくり」として、教室内で育てられる水栽培用の球根を配付しており、生徒たちがチューリップの成長を心待ちに日々、水やりを

行っています。協力して皮むきをしたり、水の量を気にしたり、栄養剤を忘れずに入れようと生徒たち同士で話合っている様子で、球根の管理を通して教室が一体となって開花を目指しています。2月のコンテナガーデンコンテストには、毎年2団体出展をしています。令和6年度には、出展団体が入念に作品を創作した結果、1団体が大賞を受賞しました。富山市の大型商業施設で、出展作品を多くの方々にご覧いただけたことに喜ぶ次第です。



写真3 コンテナガーデンコンテスト大賞作品

同月には活動推進会議も行っております。会議は市内のグリーンキーパーが一同に会する場であり、各地方銀行から自身の活動報告を市内グリーンキーパーのみなさまへ発表いただいております。講師による講演もあり、花壇の管理方法を講演いただいております。講演の最後にはグリーンキーパーの方々が次々と講師へ質問をされており、みなさまの意欲の高さに驚かされるばかりです。

結びになりますが、南砺市は富山県内で2番目に面積が広く、見どころがたくさんあります。観光に訪れていただいた際には花いっぱいの南砺市を楽しんでいただけるよう努めてまいります。また、「花と緑のフェスティバル」(5月31日～6月1日)が今年も開催されますので、この機会に南砺市へ足を運んでいただければ幸いです。

生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～ フランネルソウ～

職藝学院
教授 渡邊 美保子

英国の園芸家ウィリアム・ロビンソンの著書『ワイルドガーデン』（1870年）で紹介された日本のイタドリは、100年以上前に英国の人々の庭園に取り入れられました。しかし、英国では現在、河川敷などにはびこり旺盛な繁殖力によって生態系を破壊するとして法律で栽培が禁止されています。イギリスには、イタドリの天敵が存在しなかったことが要因です。一方で、イギリスの明るい林縁に自生しているジギタリス・プルプレアは、イングリッシュガーデンではおなじみの宿根草ですが、ここ数十年前から日本各地の山里などで爆発的に繁殖し、駆除に莫大な費用と労力がかけられています。原産地では問題のない植物が、海外に渡り侵略的外来種としてふるまう事例です。

植物が園芸目的で自生地以外に持ち込まれた場合、庭園の外に逃げ出し日本の固有種や貴重な自生種に影響を与える可能性があります。新しい外国産植物がどんどん園芸店で入手できるようになりましたので、植栽したこれらの植物がのちに生態系にどのような影響を与えるのか栽培してみないとわからないことだらけです。そのため、植栽した植物の生き方を観察して、生態系に配慮した上手な付き合い方を見つけることが大切です。

南ヨーロッパ原産のナデシコ科のフランネルソウは、短命な宿根草です（写真1）。植栽された株は数年で消えていきますが、小さいタネは風に飛ばされてこぼれダネが芽生えます（写真2）。こぼれダネで発芽する宿根草は、育てる側にとってはタネまきの手間が省けて良いかもしれませんが、逆の見方をすると庭園から逃げ出す可能性もあるということです。

ひとつの花から大量にタネを作るフランネルソウは、タネが熟す前に花茎を切り戻すことをおすすめします（写真3）。切り取られた花茎の下にある青みがかった葉を楽しみましょう（写真4）。



写真1 フランネルソウの一番花。5月初旬。ひとつの花から大量のタネを作る。



写真2 フランネルソウの実生。花壇から15m先に逸出。見つけたら抜き取る。



写真3 フランネルソウ。6月中旬。高さ90cm。広がり60cm。一番花が結実する頃。タネが熟す前に花茎を切り戻す。



写真4 フランネルソウ。7月初旬。花茎を切り戻した後。青みがかった葉が色あせてきたら、根元から刈り込む。この作業をしても、実生はどこからか発芽してくる。

※フランネルソウの詳しい説明は、花と緑の銀行 だより 200号（2016.7月号）参照

庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～ アオキ～

（一社）日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村 正史

庭木の多くは落葉樹のため晩秋に葉を落とし、翌年の春の芽吹きまで葉のない状態が続きます。その間、葉を絶えず維持している常緑樹が目立ちます。アオキもその仲間で、民家の庭に植栽されています。今回はアオキを紹介します。

1 特徴

アオキは、ミズキ科アオキ属の常緑低木で高さは1～2mです（写真1）。里山の森林の下層木として自生しています。葉は光沢のある緑色で、枝も緑色をしています。雌と雄は別々の木です（雌雄異株といいます）。民家の庭ではアオキの園芸品種である斑入りのアオキが植栽されています（写真1）。

アオキは春になると雌株には雌花を、雄株には雄花をつけ、どちらの花弁も4枚で薄紫色をしています（写真2）。どちらの花も小さいものの、多くの花が円錐状に集まって花序を形成して枝先に咲かせるので、きれいです。雌花には雄しべがありませんが、花の中央によく目立つ雌しべがあります。雄花には雌しべが退化してほとんど見えませんが、雄しべの黄色い葯がよく目立ちます。

雌株は、6月頃になると小さな実をつけ、大きくなりますが、実は緑色のままで越年し3月中旬以降になると、やっと赤くなります（写真3）。4月上中旬には赤い実と雌花を同時に鑑賞することができます。

庭木として1本のみ植栽されている場合には、



写真1 アオキの雌株（左：民家の斑入りアオキで2025年4月1日撮影、右：富山県中央植物園内のコナラ林内のアオキで2025年3月31日撮影）。

赤い実をつけていないことがあります。雄株であれば理解できますが、雌株であるにもかかわらず実をつけてないのは、近くに雄株がないので、受粉できないためです。実を毎年つけさせるためには、雄株と雌株を一緒に植えてください。また、ヒヨドリ等に食べられて実が消失し、本来はあるはずの実がなくなる場合もあります。

2 維持管理

日陰に強い樹木です。日陰になるような家屋の北側や大きな樹木の下に植栽してください。枝や葉が多くなると、適度に枝透かしをして風通しをよくしてください。大きくなり過ぎたと思えば、新芽が出る前の春に切り戻してください。極端なやせ地でない限り、肥料を施す必要はありません。

病害虫では、すす病の発生が心配されます。その原因はカイガラムシです。樹種が樹木で害虫がカイガラムシで登録されている殺虫剤で対応してください。



写真2 雌花（左）と雄花（右）の花序。それぞれの写真の左上は1つの花の拡大写真。左は2025年4月9日、右は2024年4月6日撮影。



写真3 民家の斑入りアオキの実（左、2025年4月1日撮影）と富山県中央植物園内のアオキの実（右、2025年3月31日撮影）。

とやまの花壇 ～ 富山市 新庄北小学校&地域団体 ～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。
花とみどりの癒しのスポットを、是非、ご探訪ください。

1 花壇の特色

富山市新庄本町の新庄北小学校に隣接する中川排水路の堤防上に、新庄北地方銀行や社会福祉協議会などの地域団体が、新庄北小学校と協力して維持管理している花壇があります。

平成22年に新庄小学校から分離して開校した新庄北小学校の児童が、友達と離れて寂しそうだったことから、3年生の児童と地域住民の異世代交流により取り組みが始まった花壇です。

その長さから“123m花畑”と呼ばれており、通学路沿いにあることから花壇を見ながら散歩する人がいるなど、地域の人々にとって安らぎの場所になっています。

＜主な表彰歴＞

令和2年度 県花のまちづくりコンクール (花の道部門)	優 良 賞
〃 3 〃 〃 (花の道部門)	優 秀 賞
〃 4 〃 全国花のまちづくりコンクール	優 秀 賞
〃 4 〃 県花のまちづくりコンクール (花の道部門)	優 良 賞
〃 5 〃 〃 (花の道部門)	優 秀 賞
〃 6 〃 〃 (花の道部門)	最 優 秀 賞



写真1 新庄北小学校&地域団体の123m花畑

2 活動概要

(1) 取組みと工夫

- 3年生への教育の一環として、社会福祉協議会や地方銀行の講師が、事前に花の栽培などに関する学習会を行い、児童は花を育てる上で大切なことを理解してから花壇づくりに取り組んだ。
- 1班当たり5～6名の20班に分かれ、各班が創意工夫を凝らして担当区画(5.3m)をデザインし植栽を行っている。
- 児童は花壇デザイン、植込み、水やり(夏休み以外)及び株上げを実施し、地域団体は花壇の総合管理及び花づくりの指導、プラグ苗の管理や草むしり、夏休み中の水やりを実施するというように役割分担を行っている。
- 花のうちペゴニアについては、前年の3年生が株上げをした苗を、協力者のハウスで管理

新庄北小学校&地域団体

してもらうことで代々引き継いでいる。

- 通学路沿いにあり人通りも多いことから、定期的に除草を行っている。
- 障がいのある子供も地域の一員として参加できる交流会として、「芝桜を見る会」「123m花畑を見る会」「さつまいも掘り」を開催し、「芝桜を見る会」「123m花畑を見る会」では写真コンテスト等を行い、地域共生の輪を広げるように努力している。



写真2 花壇の手入れ

(2) 花壇づくりへの思い

この活動をはじめから、子供たちが元気になる積極的にあいさつするようになりました。また、花のお世話を通して感動や友情を深める機会を得ることができたようです。

地域では核家族が多くなっている中、花壇管理を通じた異世代交流で、子供たちと地域団体の大人が共に有意義な時間を過ごし、お互いの理解を深めることができました。

最近の猛暑もあり、暑い時期の草むしりや水やりは大変ですが、子供たちから「ありがとう集会」へ招待され、感謝の言葉を言ってもらい、ゲームや歌などで1年間の苦勞を癒してもらえました。

例年8月には、県花のまちづくりコンクールで過去に受賞された花壇を視察するなど、日々意欲をもってみなさんと一緒に花壇作りに取り組みました。

構成員の高齢化や新規メンバーの減少などの問題はあっても、今後も子供たちと一丸となってこの花壇を守り続けたいと考えています。

(以上、新庄北小学校&地域団体 代表 清水清三さんにお話を伺いました。)

●花壇の概況

- 規模：123m×1.1m
- 見頃：7月～10月
- 所在地：富山市新庄本町
新庄北小学校隣(中川排水路堤防)



大島地方銀行の活動状況について

花と緑の銀行 射水支店

大島地方銀行 頭取 吉田厚子

大島地方銀行は頭取1名とグリーンキーパー9名で活動しています。

大島地域では花を愛する文化が根付いており、楽しく集まり協力しながら花と緑を育てています。

春と秋には花苗、堆肥・肥料、花の育て方などを記載したリーフレット等を町内会等20か所、小学校等10か所に配布しております。花の育て方などについても随時相談を受け付けています。



写真1 大島中央公園花壇とグリーンキーパー

また、大島地域独自で花壇コンクールを実施し、花壇管理者のモチベーション向上につなげています。県や市の花壇コンクールに入賞する花壇も多くあり、意欲的に取り組まれています。

特に射水市役所の隣にある大島中央公園内に設置している花壇を【スマイルガーデン】と名づけ、大島地域全員で企画・管理しています。



写真2 大島中央公園花壇の維持管理

公園利用者の方々から、ご好評をいただいております。日々の管理は大変ですが、労いの言葉をかけていただいたり、射水市のコンクールに入賞したりすることでやりがいにつながっています。

これからもいろいろな活動を通じ、グリーンキーパーとの和を大切に、地域の花いっぱい運動に取り組んでいきたいと思っております。



写真3 大島地方銀行 頭取&グリーンキーパー

報告コーナー

令和6年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

2月15日(土)、16日(日)の2日間、令和6年度の「花とみどり・ふれあいフェア」をファボーレ(富山市)にて開催しました。

昨年は能登半島地震の影響で実施できなかった、富山少年少女合唱団によるオープニングコンサートで華々しく開会し、『花と緑でウェルビーイング』をキャッチフレーズに掲げ、親子体験教室や寄せ植え体験のほか、お気軽体験コーナーや緑に親しむ体験コーナー、花の展示コーナーなどを設け、ご来場の皆様には、ご家族や友人同士で花と緑を見てふれて、身も心もリフレッシュしてもらえたのではないかと思います。



寄せ植え体験



大賞 城端花と緑の会

○コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行等	出展団体	タイトル
大賞	南砺市	城端支所	城端花と緑の会	春は曳山から
優秀賞	砺波市	東野尻	東野尻花と緑の推進協議会	となみ野の春を彩る
佳作	射水市	下	下地方銀行	自然 歴史・伝統・文化が息づく下村
佳作	富山市	婦中熊野	婦中熊野花と緑の地方銀行	メルヘンの世界へようこそ!
佳作	上市町		花と緑の銀行上市支店	劔岳

* 応募総数：14作品 県内各地の花と緑の地方銀行等から出展

○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	市町村	タイトル
最優秀賞	中谷 明子	射水市	南半球からの春便り
優秀賞	松本 歌子	射水市	花 降りそそぐ ～長く大切に絆ぐ～
優秀賞	京角 玉子	射水市	母 百歳 お疲れ様
新人賞	清水 愛子	射水市	春のPATCHワーク
佳作	友好ガーデン代表 菅谷 俊成	高岡市	富山湾の景勝地「有磯海」の海岸に流されてきた流木を鉢やプランターの的に使って春の花を寄せ植えしました
佳作	五十嵐 直美	富山市	春を待つ小さな隠れ家
佳作	森越 裕美子	氷見市	ひなんさきでもらったカロリーメイト
佳作	高見 ますみ	高岡市	森の奥



最優秀賞 中谷 明子

* 応募総数：15 作品 一般の方から出展、1 作品 特別出展（審査対象外）

 お知らせコーナー（6月～8月の主なイベント）

 令和7年度花と緑のコンクール

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール 学校花壇部門 プレミアム花壇部門 花の道 一般花壇部門	7月 9日(水) 7月 16日(水) 7月 16日(水) 7月 23日(水)	7月 22日(火)～23日(水) 7月 28日(月) 7月 29日(火)～30日(水) 8月 4日(月)～5日(火)
○ 花と緑の標語コンクール	8月 1日(金)	8月 29日(金)
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月 8日(月)	9月 12日(金)

 富山県中央植物園

- 夕涼み植物園 8月22日(金)～24日(日) 18:00～21:00
- 夏休み子ども企画「森のクラフト」 7月18日(金)～8月20日(水)
- 夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 8月1日(金)～3日(日)
- 特別展「花のふしぎ(仮)」 8月29日(金)～10月8日(水)

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)



オオオニバスに乗ってみよう
(R 6.8月)

 県民公園 頼成の森

- 頼成の森”花しょうぶ祭り” 6月13日(金)～22日(日) 9:00～17:00
- ♡夏♡の頼成の森観察会<カブトムシウオッチング>
7月20日(日) 10:00～11:30 定員：20名 参加費：無料
- 野鳥と昆虫の観察会 7月27日(日) 9:30～12:00 定員：25名 参加費：無料
- 竹を使った工作教室<水鉄砲で遊ぼう>
8月 3日(日) 9:30～12:00 定員：20名 参加費：600円
- 木製楽器づくり教室 8月24日(日) 9:30～12:00 定員：20名 参加費：600円



花しょうぶ祭り (R 6.6月)

◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>
富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/>
県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成 156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 235号

発行日 令和7年(2025)5月
再生紙を利用しています。